MITSUBISHI PAPER MILLS LIMITED

エコアカ通信２０２６年度

森のめぐみの体験学習

エコシステムアカデミー

ビジターセンターである白河山荘と白河地区「村火社有林」を中心に体験型森林環境学習の場（体験型学習、森の調査・研究）を提供し、生物多様性に貢献しながらグループの企業価値向上と発展に寄与する活動を展開しております。

2026年度上期の取り組みについて、ご紹介いたします。



カッシー　ニッシー

自然共生サイト認定 30by30

環境教育等促進法 認定マーク 体験の機会の場

Ⅰ　体験型森林環境学習

●2026年度　三菱製紙新入社員研修会～ビジターセンター（白河山荘）
日　時　2026年4月8日（水）
来場者　27 名（新入社員26名、引率1名）（スタッフ3名、ボランティア6名　合計36名）

○白河山荘にて、紙すき、紙の手提げ袋、だるま絵付け、丸太切り＆コースター作りの体験会を開催致しました。



ビジターセンター（白河山荘）～室内



ビジターセンター（白河山荘）～屋外

〇私たちの生活と森林～講義

3つの森（伐ってはいけない森・ルールを守り伐ってもよい森・伐らなければいけない森）、森のサイクル～木材のサイクル～紙のサイクルなどを学習しました。



講義の様子



真剣に受講する新入社員

〇紙すき体験～針葉樹・広葉樹を使い、はがきサイズの紙をつくりました！



紙すきの様子



アイロンでハガキを乾燥させてる様子

〇紙の手提げ袋作り体験～紙の再利用などを学びました。



最初に取っ手をつくります



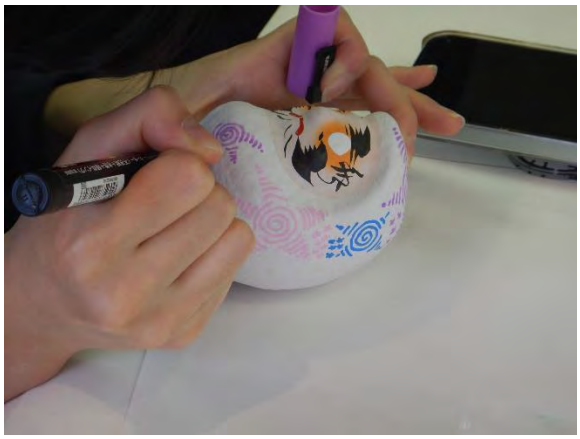
紙を折り、糊を着けます

○白河だるま絵付け体験

～顔の中に鶴亀松竹梅（眉が鶴、ひげが亀、あごひげやびんひげに松・竹・梅）が描かれている伝統工芸品。願いをかけるときはまず左目に目を入れ、願いが叶ったら右目を入れる習わしがあり、毎年ひとまわりずつ大きなだるまに買い替えていく「末広がり」の縁起物としても親しまれています。それぞれの願いを込めて！絵付けを体験しました。



集中して絵付け体験に臨みました！



願いを込めて！

○丸太を切り、オリジナルコースターをつくりました。



ノコギリを初めて使う方が多くいました！



きれいに木目を仕上げてコースターを完成！

エコアカ研修ご参加の皆様から寄せられた感想です。

紙すき体験や丸太切り、コースター・だるま作りなどの実践的な活動を通じ、
座学だけでは得られない深い学びがあったとの声が多く挙がっています。
具体的には、広葉樹と針葉樹の繊維の長さや強度の違いを体感できたこと、製紙の原点である森林や環境保護への意識が高まったことなどが報告されています。
一方で、クマ出没の影響により、社有林に入れず残念だったという意見もありました。
詳細なコメントは以下の通りです。

・紙すき体験を通じて、広葉樹と針葉樹の性質の違い（厚み、強度、水の抜け方など）を肌で理解することができた。実務に活かしたい。
・丸太切りやコースター作りを通じ、木を加工する大変さや自然の資源管理の重要性を実感した。
・紙にまつわる様々な体験型実習を楽しみながら学ぶことができ、非常に有意義な研修となった。

●白河市東公民館　東子ども教室～村火社有林・自然観察＆紙すき体験
日　時　2026 年 5 月 30 日（土）
来場者　17名（小学生15名、引率2名）、（ボランティア6名、スタッフ3名、合計28名）
○白河市東公民館主催「令和8年度東子ども教室」の皆さまに受講を頂きました。
　村火社有林にて自然観察。白河山荘にて白河だるま絵付け、紙すきを体験。


村火社有林～出発！



笹船を作りました！


朴葉で面つくり！


自然観察！


上手に作れました！


森について、学習！



紙すき体験！～はがきをつくりました！


最後にみんなではい！ポーズ！
　受講頂き、ありがとうございました。

引率者より感想を頂きました。
笹船を作って浮かべたり、朴の木の葉でお面を作ったりと、普段できない貴重な経験ばかりでした。
紙すき体験では、小学 3 年生の子どもが慣れない作業に大変苦戦しておりましたが、スタッフの皆様が優しく教えてくださったおかげで、立派なはがきを完成させることができました。
また、針葉樹と広葉樹の紙の硬さの違いを学んだり、木の直径や高さからノートが何冊できるかを計算したりと、子どもたちにとっては非常に刺激的で楽しい学びとなりました。

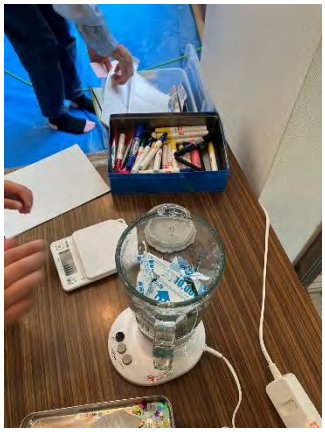
●白河市大信公民館　わくわく少年クラブ～白河山荘
日　時　2026年6月6日（土）
来場者　10名（小学生8名、引率2名）、（ボランティア6名、スタッフ3名、合計19名）

○白河市大信公民館主催「令和8年度わくわく少年クラブ」の皆さまに受講を頂きました。
　白河山荘にて、森林学習、白河だるま絵付け、紙すきを体験。


カッシー・ニッシーと一緒に！体験するぞ！


白河だるま絵付け体験

紙すきの原料は「針葉樹・広葉樹」に加え、古紙（使用済みの紙製品）を自分達でつくり、はがきをすきました！


使用済み紙をちぎり投入


ミキサーでほぐす


原料を流し込む


古紙のはがき！完成！


素敵なハガキが出来ました！

●令和8年度わくわく探検隊～西郷村教育委員会生涯学習課中央公民館
日　時　2026年7月4日（土）
来場者　25名（小学4年生20名、引率5名）（スタッフ4名、ボランティア5　合計34名）

〇西郷村教育委員会生涯学習課中央公民館主催「令和8年度わくわく探検隊」の皆さまに
　本年も受講を頂きました。



ビジターセンター～室内



ビジターセンター～屋外！

・エコシステムアカデミー室のオリジナルカードゲーム大会～葉っぱ de クエスト

森にすむいろいろな生きもの（木、草花、けもの、鳥、虫、きのこ　など）が描かれたカードを使います。
ひとつのチームで使うカードは 14 枚です。
チームで作戦を立てて、そのカードを 5 つの「部隊」に分け、対戦相手と部隊ごとの合計点数で勝負するゲームです。
さあ、森の生きものたちといっしょに、対戦開始！



葉っぱ de クエスト！対戦開始！！



4班に分かれてチーム名を決めました！
・森　・テトリス　・きのこの山　・たけのこ里
勝ったのは！！





丸太切り＆オリジナルコースター作り体験～木の温もり、におい、肌触りを感じて！！



紙の手提げ袋を作りました！



完成です！！



スタッフの実演を真剣に見て！



葉っぱなどを入れ「はがき」を作りました！！

西郷村中央公民館より、子供達は、自然環境や SDGsの大切さを改めて実感出来たとの報告を頂きました。

参加された皆さんの感想は、以下の通りです。

・初めてのこぎりを使いました。森を整理している人達は大変だと感じた。
・紙すきは、優しい先生が教えてくれたので上手にできた。
・森には3つの種類があって、ルールを守って木を伐ることが分かった。

●従業員～室内イベント受講～私たちの生活と森林・紙すき、紙の手提げ袋作り体験
日　時　2026年6月29日（月）
来場者　12名（ボランティア5名、スタッフ3名　合計20名）

○エコシステムアカデミー室の生物多様性維持取組み状況について、理解を深めました。

ビジターセンター白河山荘にて紙すき体験を行いました。






●地元「幼児」受入～昆虫採取と川遊び体験
日　時　2026年8月10日（月）従業員の家族～村火自然体験
来場者　2名（4歳児、2歳児）（スタッフ３名　合計5）

○昆虫採集と川遊び体験会を開催しました。
豊かな自然の中、トンボなどとふれあい、その体験を通じて幼児の心が安らぎ、豊かな感情、好奇心、思考力、表現力などの基礎が少しでも培われれば、幸いです。
幼児達からは、また、社有林へ遊びに来たい！との声を頂きました。

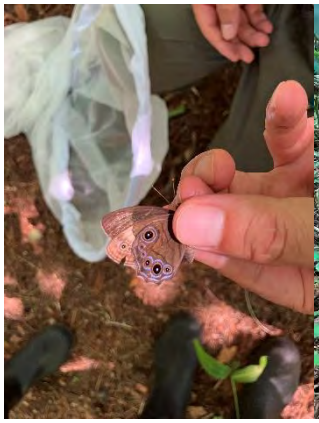





●村火社有林～東京大学名誉教授　宮下直　先生　視察
日　　時　2026年8月6日(木)～7日(金)
来場者　1名(スタッフ5名　合計6名)

○自然共生サイトに認定されている村火社有林の今後の取り組みに向けて、
東京大学名誉教授の宮下直　先生をお招きし、視察致しました。
今後の取り組みに向けて、大変貴重なご見解とご指導を賜り、心より感謝申し上げます。
いただいたアドバイスをもとに、今後の対応方針を進めてまいります。






Ⅱ 森の調査・研究

1. 土壌動物調査(フォールトラップ法)～2026年 9 月14日(月)～17日(木)実施
＜トラップ設置:村火社有林内 5 エリア(各 20 ヶ所、計100ヶ所設置)＞

移植ごてで穴を掘り、プラスチックコップを地中に埋める。
プラスチックコップの縁を地面と水平にする。



完 成　　割り箸を 3 本、紙皿に差し、プラスチックコップの上に取り付け笠とする。　　タバスコを一振り(約 0.1ml)する。

＜結果＞
村火社有林～昨年同様、多種多様な土壌動物を確認しました。
現在、同定作業を進めています。



ゴミムシ


ムカデ

＜自然の豊かさの目安＞
Ⓢ:自然がよく保たれた自然林や神社林　60～75 点
Ⓐ:成熟した雑木林(二次林)　55～65 点
Ⓑ:成長段階の雑木林　45～55 点
Ⓒ:若い雑木林や人工林　35～45 点
Ⓓ:公園、人家の庭、校庭　25～35 点
Ⓔ:道路の植え込み　15～21 点

2．社有林に生息する動物観察記録用トレイルカメラのデータ回収を実施

村火：ニホンジカ、ニホンカモシカ、ニホンツキノワグマ、ホンドタヌキなどを確認しました。



堰堤（2026/6/14：ニホンジカ）



生長の森（2026/6/30：ニホンカモシカ）

3．水生生物、昆虫、植物の調査～村火社有林



村火社有林の体験ゾーンにて、水生生物調査、昆虫調査、植物調査を継続、
森の豊かさを確認し、生物多様性の維持・保全活動を行いました。

＜水生生物の調査＞

環境省「水生生物による水質判定」を参考に調査をしました。

村火社有林の沢は、4 段階中、一番上の「水質階級Ⅰ　きれいな水」と確認しました。

＜指標生物による水質判定目安＞
水質階級Ⅰ　きれいな水
水質階級Ⅱ　ややきれいな水
水質階級Ⅲ　きたない水
水質階級Ⅳ　とてもきたい水



水質：透明度を確認

＜確認した生物＞

2026年8月5日　村火社有林　　水生生物調査



カゲロウ類



トビゲラ類



ニホンヒキガエル



サワガニ



カワゲラ類



ヤマメ



ブユ類



＜昆虫の調査＞～苗木を植えている箇所で、トンボ目・チョウ目・セミ目などを確認出来ました。



ジャノメチョウ



クモ類



アブラゼミ



アキアカネ

＜植物の調査＞～2026年４月23日～24日調査を実施、20種を確認した。



ツクバネソウ



タチツボスミレ



カタクリ



テングノコズチ

4．野鳥観察

日本野鳥の会白河支部と探鳥会を開催
４月25日（土） ５名：16種を確認しました。





5. 毎木調査（5年毎）を実施しました。
調査日：2026年４月23日～24日。調査地点：8ヶ所（エリア1ヶ所 20m×20m）
当該地は樹齢61年から71年を経過したアカマツ造林地。調査開始から16年が経過。
現在は、アカマツが減少する一方で、ミズナラ、コナラ、カシワ、クリといったブナ科などの
広葉樹が増加、混交林の様相を呈している。

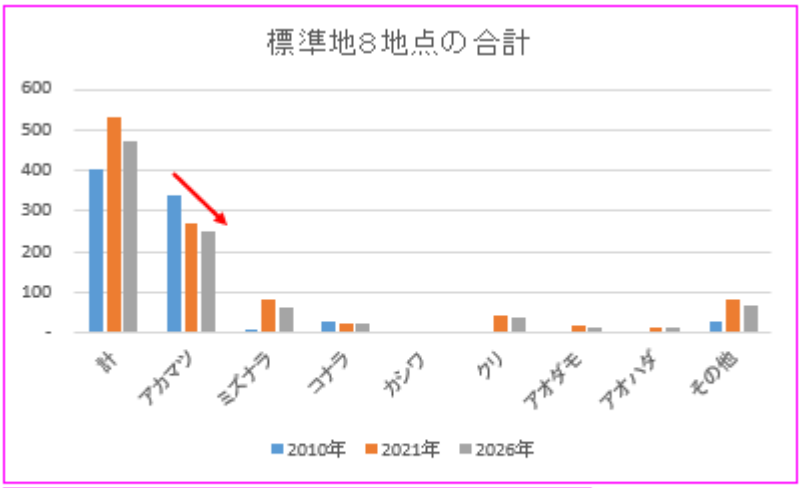


胸高直径を測定



標準地の確認

村火社有林の植生調査結果＜樹種別本数比較＞



アカマツ：2010年339本→2026年250本へ89本減少
広葉樹、他：2010年65本→2026年222本へ157本増加

Ⅲ 森の育成･管理･利用

1. 白河地区社有林の管理

「村火、欠入、赤仁田」の巡視。倒木･危険木の処理を実施。



村火



欠入



赤仁田

2. ニホンジカによる被害を確認。

樹皮・新芽・下草を食べる。角研ぎにより幹に傷をつける。（今後は樹木の枯れ状態を監視する）



新芽や樹皮を食べ、枝を折る



防獣ネットを設置

村火社有林の植樹会場にて、苗木の一部がシカの食害（新芽）により枯死しています。
これを受け、防獣ネットを設置しました。
【設置概要】
・設置日：2026 年 5 月 14 日（木）より
・設置範囲：16m × 21m（苗木 約 88 本分）
今後はネットの効果を確認しつつ、苗木の生育状況を継続して注視いたします。

3. **村火社有林下刈り、林道清掃作業を実施。**





4. FSC®森林認証－FM 認証／COC 認証
・外部委託先への教育を実施。
・FSC-FM 認証　2026 年第 2 回年次監査　7/21-22（現地監査：村火・欠入社有林）、
COC認証更新審査 5/21 にそれぞれ実施しました。

FSC®C021528





村火社有林～現場審査の様子

Ⅳ その他

1. 地域とのつながり

＊にしごう紙すきサークル

体験型森林環境学習の室内イベント(紙すき体験等)のボランティアとして活躍しています。
スキルアップを目指し実技研修を実施しています。


紙すき


すき込み




はがき・完成品

＊西郷村文化センターにて、
エコシステムアカデミー室の活動内容を展示



展示期間:5 月～6 月

＊源流の里 堀川河川愛護活動へ参加
～4 月 11 日(土) 3 名参加



以 上

必見！エコアカ森のめぐみのブログはこちらをクリック
https://esa.matrix.jp/

三菱製紙エコシステムアカデミー
ホームページはこちらから

https://www.mpm.co.jp/ecosystemacademy/index.html

三菱製紙 Green Webcast は
こちらから

https://www.youtube.com/@greenwebcastmitsubishipape4678



＊＊

【発　行】 エコシステムアカデミー室　事務局　田村博之

【発行日】 2026年4月

＜体験型森林環境学習のご案内＞

・社有林体験：森林観察、植樹、育樹体験等。

・室 内 体 験：森林環境学習、安全教育、紙すき体験等。

・10名程度のプログラムです。

・受講料は、無料です。（備品等、費用は実費ご負担頂く場合があります。）

・集合・解散場所（白河山荘）までの往復交通費・宿泊費・食事などは、来場者様のご負担です。
「集合場所（白河山荘の住所：福島県西白河郡西郷村大字真船字欠入 9-17）」

・詳細は、事務局までお問い合わせ下さい。

【申し込み・お問い合わせ】 下記事務局までお気軽にお問い合わせください。

三菱製紙株式会社　コーポレート・ガバナンス本部　総務部　エコシステムアカデミー室

（住　　所）福島県西白河郡西郷村字前山西3番地

（E-mail）ecoaca@mpm.co.jp

以　上